

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2004-217155(P2004-217155A)

【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2003-9368(P2003-9368)

【国際特許分類第7版】

B 6 0 T 8/26

B 6 0 T 8/58

【F I】

B 6 0 T 8/26 H

B 6 0 T 8/58 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月14日(2005.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

すなわち図2において、車両のブレーキ時の制動力配分制御にあたっては、ブレーキ状態の時刻t1で制動力配分制御が開始されるのに応じて後輪に対応した第2および第4常開型電磁弁6B, 6Dが閉弁し、それに応じて後輪側のブレーキ液圧が前輪側のブレーキ液圧よりも低く抑えられる。而して後輪の車輪速度が、時刻t2で車体停止直前の所定速度V0たとえば2km/h以下に低下してから所定時間Tたとえば300msで経過した時刻t3で制動力配分制御が終了することになり、時刻t3で第2および第4常開型電磁弁6B, 6Dが開弁し、それに応じて後輪側のブレーキ液圧が前輪側のブレーキ液圧と等しくなるように増圧側に変化する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

本発明の第2実施例として、図3で示すように、ブレーキ状態の時刻t1で制動力配分制御が開始されるのに応じて後輪に対応した第2および第4常開型電磁弁6B, 6Dを閉弁し、たとえば後輪の車輪速度が、時刻t2で車体停止直前の所定速度V0たとえば2km/h以下に低下してから、さらに推定車体減速度が設定減速度DV0以下となる時刻t3で制動力配分制御を終了するようにしてもよい。